

# 第15回「親子キャッチ575」

## 最優秀作品と表彰式 青少年育成市民会議

「親子キャッチ575」の作品募集に、市内の小中学校、高等学校からたくさん応募をいただき、4,155点の作品が集まりました。そして、表彰式が平成30年11月10日、碧南市文化会館で行われ、最優秀作品、優秀作品の合計30点が表彰されました。

作品のテーマを、「家族・地域の絆」「命の大切さ」「人への思いやり」としました。感心したり、感動したり、うれしい気持ちになったりする作品が多く、親子の絆の強さを感じるもの、温かい家族の様子が浮かんでくるものもたくさんありました。



第15回親子キャッチ575最優秀作品

被災者に届くよきと その思い  
西端小学校五年 北野 真子 母

おこづかい 災害募金に 使っていない？  
西端小学校五年 北野 真子 母

いつまでも つないでいたい 心の手  
中央小学校四年 園 柚葉 母

おつかい 今日も夕やけ きれいだね  
西端小学校三年 長脇 柚里南 母

お母さん 人の前だけ やさしいね  
西端小学校二年 鳥居 侑真 母

「そんなこと ないよ」と言えず 苦笑い  
西端小学校二年 鳥居 侑真 母

お母さん ひよこりみてるの ばれてるよ  
西端小学校一年 保木 蒼太 母

一年生 まだまだ不安 通学路  
西端小学校一年 保木 蒼太 母

学校へ 「いつだってしゃい」 母の声  
南中学校一年 井上 愛望 母

「ただいま」の 声のトーンに 耳澄ませ  
南中学校一年 井上 愛望 母

災害で 命の重さ わかるよね  
日進小学校六年 小島 彩八 父

災害で 人の優しさ 分かるよね  
日進小学校六年 小島 彩八 父

言ったこと 否定しないで 受け入れて  
中央中学校二年 奥谷 俊介 母

アドバイス ムツとしないで 聞き入れて  
中央中学校二年 奥谷 俊介 母

母の声 無い日はがぜん やる気出る  
新川中学校三年 河野 光 母

勉強は？ グツと飲みこみ やる気待つ  
新川中学校三年 河野 光 母

将来の 多い選択 模索中  
碧南高等学校一年 名倉 靖貴 父

人生の 岐路は多かり 悔いなかれ  
碧南高等学校一年 名倉 靖貴 父

碧南市青少年育成市民会議だより

# ふれあい

編集発行  
碧南市青少年育成市民会議  
碧南市源氏神明町4  
TEL (0566) 42-3511

## 2019年成人式『Journey～新たな旅の始まり～』

1月13日(日) 平成最後となる成人式を行いました。今年度は碧南市制70周年の年でもあり、特別な感慨をともし成人式でした。今年のテーマは「Journey～新たな旅の始まり～」です。実行委員による新成人の強い想いとこれからの人生への新たな決意を十分に感じさせる成人式となりました。美容師、ダンサー、ヴァイオリニスト、消防士。すでに夢に向かって進んでいる力強い仲間を紹介し、一堂に会した成人に「あなたの夢は何ですか？」と力強く語りかけました。実行委員による声かけや決意に対して、会場中から温かい拍手が自然発生的に起こっていました。碧南市の未来を形成していく次代のたくましい姿を想起させる素晴らしい成人式でした。



### 『Journey』に込めた想い

成人式実行委員長 亀島 優希

多くの方々のご厚誼とご指導のもと、成人式を終えることができました。深く感謝申し上げます。

今年の成人式のテーマは「Journey～新たな旅の始まり～」。人生を長い旅に例えて、この旅になくてはならない“感謝”、“自覚”、“挑戦”という3つの柱を新成人のみんなに成人式で感じ取って欲しいという思いで式全体を構成しました。

これまで当たり前のように過ごしてきた毎日に、自分の気づけていない多くの人の支えがあったことを認識し、周囲の人に“感謝”するということ。

自分は集団社会の一員であり、これからはまわりから一人の社会人として、また下の世代からは大人として見られることを“自覚”するということ。

まだたくさんの可能性をもっている20歳、今まで数多くの選択をしてたどり着いた今の自分を見直し、再び新たな目標を掲げ“挑戦”するということ。

碧南市内の全中学校から集まった私たち成人式実行委員会の10人のメンバーはその3つのことを新成人に感じて欲しいという想いで成人式の企画を行ってきました。一人一人とても色の濃いメンバーで、何かを考えるとみんなからたくさんの意見が出て、ぶつかる時もありました。しかし、それは各々が成人式をより良いものにしたいという強い想いがあったからこそです。今考えるとぶつかり合うことができたからこそ、市制70周年、平成最後の成人式に素晴らしいものを作り上げ、計り知れない達成感を感じることができたのではないかと思います。

成人式で泣いていた人や直接感想を言って下さった方々がいました。この式で多くの人の心を触発し、共感を得られたのではないかと思います。

世の中には様々な理由で自分のしたい旅をできない人も多く存在します。自分のこの環境に感謝をし、今この一瞬一秒、常に分岐点に立ち何をやるか、何を考えるかという選択を迫られているこの旅。周囲の人に感謝をし、終わりなき更なる自分探しの旅を、新成人一同、自分の歩幅でしっかりと歩んでいきます。



### 昭和の親・平成の子

碧南高等学校PTA会長

三田 浩太郎

今年度は、有難いことにたくさんの講演会でいろいろな話を聞かせていただく機会がありました。その中で、特に印象に残ったのが『昭和の親 VS 平成の子』でした。

昭和生まれの私たちは、大人から「自分たちはこうだったから、あしなさい、こうしなさい」といわれ、それが当たり前のように育った気がします。果たして、それが平成生まれの子どもたちに伝わるのでしょうか。

私たちが育ってきた昭和から30年前に平成に変わり、次の元号を迎えようとしている今、時代は急速に変化しています。私たちが子どもの頃には想像もできなかったスマホやSNS等、時に私たちが理解することが難しいことも多くあります。しかし、理解できないことを否定するのではなく、子どもの目線に立ち同調し理解しようと努力することは必要ではないでしょうか。そうすることで、平成に育った子どもたちに昭和世代の私たちの気持ちが伝わり、またその次の元号で育つ未来の子どもたちに繋がっていくのではと思います、そうなることを願います。



### やれる人が、やれる時に、やれることをやる

碧南市おやじの会連絡会

佐藤 基

大人になってから23年経ったが、私の精神年齢は全然変わってない気がする。高校生ぐらいからあまり変化がない。そう考えると、中高生に対して偉そうにはしてられない。

子どもが小さい頃のしつけは、必要だと思う。しかし、子どもの成長に合わせてコミュニケーションの方法を変化させる必要がある。分かっているが、これがまた難しい。叱っているはずなのに、いつの間にか喧嘩になっていたこともある。

こんな私がこの原稿を依頼され、書くにあたりこの運動を調べてみた。

- 1 子どもは社会を映す鏡、まず大人が子どもたちの模範になる行動をとる。
  - 2 子どもたちの気持ちを汲み取り対話することで、善悪の判断力を育む。
  - 3 子どもたちに好ましくない環境に対し、改善のために積極的に発言・行動する。
- とすごいことが書いてあり、少し怯んだ。しかし、できることから何かやろうと考えた。

おやじの会の活動では、子どもたちと触れあう時に、『挨拶のできる大人』『ありがとう・ごめんなさいが言える大人』を率先垂範して取り組んでいる。大浜おやじの会のモットー『やれる時にやれることをやる』精神で少しでも役に立てていけたら幸いです。

### 心の居場所づくり

更生保護婦人会

守田 幸子

親子共に平成生まれが増えて、次々と新しい時代の訪れを感じます。十年一昔と言えるほど社会は著しい変化があります。しかし、時代がどう変わろうとも、すべての人が幸せで平穏に暮らせる世の中であって欲しいと願う気持ちは変わりません。

最近よく耳にする言葉に「子ども食堂」があります。生まれ育った家庭環境により、食事が満足に食べられなかったり孤食になったりしている子に、無料または安価に食事を提供する活動が始まったようです。また、食事に限らず、勉強する機会をサポートしたいという気持ちから始まった「放課後子ども教室」もあるそうです。これにより、勉強をする習慣を身につけると共に、「続ける」「分かる」などの小さな積み重ねができ、心の成長にもつながられると思います。

物の豊かさとは反対に、心の豊かさが失われていることを感じているこの頃です。私たち更生保護女性会は、「子育て支援活動」を通して心の豊かな子どもたちが育つ環境づくりを広めています。活動の意義や喜びを理解していただけるとありがたいです。

### 親が変われば、子も変わる？

碧南少年野球育成連盟

杉浦 行一

さて親がどんな風に変われれば良いのか。テレビ、雑誌、SNS等のネット社会の現在、情報は子ども達の方がたくさん持っています。親はどう変われば良いものか、悩みの尽きないのが現状です。

昔も今も親の言動は大事です。やはり、どんな大人になって欲しいか伝え続けなければなりません。口で毎日小言を言っても耳に入りません。たまには大事なことを手紙で伝えるなどして、子どもの頭の片隅に少しでも残れば良いと思っています。

子どもは小さい時から親の言動を見て育っています。親が自分の人生の目標(夢)を語ることで、子どもを素晴らしい良い大人に導くことにつながると信じています。

そして、親自身が、より良い人生を歩むために「人を幸せにする人生の目標(夢)」を追求し、子どもの見本となれるような姿を示しながら、子どもと共に学び続けることが親の責任だと思っています。



## おやじの会

おやじの会は、平成10年に棚尾地区に「棚小おやじの会」が発足して以来、各地区でもおやじの会が立ち上がり、昨年まで6地区で活動を展開してきました。そして今年、中央地区に新たにおやじの会が発足し、全小学校区でおやじの会がそろいました。活動のねらいは、「父親同士の交流を図って連帯感を高めること」「子育てを母親任せにしないで、父親も家庭教育に関心をもつこと」「子どもの理解を深め、子どもからの信頼を得ること」です。

### 市制70周年記念事業

## みんなどろまみれ どろんこまつり

～平成30年7月15日(日)～

今年度は、碧南市市制70周年ということで、市内おやじの会が協働で記念事業に取り組み、「みんなどろまみれ どろんこまつり」を企画、開催しました。

平成30年7月15日(日) あおいパーク駐車場東にある田んぼの一角を使って「どろんこまつり」を開催しました。とても暑い日にもかかわらず、約200名の親子が参加しました。汚れることを気にせず、泥の中を思いっきり走り回る子、飛び込む子。日頃は逡巡してしまう大人も子どもも、心を開放し思い切って泥まみれになりました。そして、親子で互いの姿を見合い、笑顔満開のひと時となりました。



### 各地区での活動から



新川 もちつき



棚尾 田植え～稲刈り



日進 流しそうめん



鷲塚 水鉄砲づくり



大浜 クリスマス会



西端 ゴム鉄砲づくり